



倭漢朗詠集卷上

春

立春 早春 春興

春夜 子日付の菜 三月旨
付

暮春 三月畫 回三月

驚霞 雨梅付 柳

山形無少好家士少田刈類

廣野新田村

梅本多之助

山形縣東川郡廣野村大字廣野新田



梅本金部

山形縣東川郡廣野村大字廣野新田

梅本德治

花付 落花 蹴踏 款冬 藤

夏

更衣 首夏 夏衣

端午 纳凉 晚夏

花橘 莲 郭公

萤 蝉 扇

秋

立候 早秋 七夕

秋興 秋晚 秋衣

宵衣付 宵衣付 宵衣付

世民宅 秋 菊 蘭

橙 前裁 紅付

雁

付鳥

出

麻

霧

霧

持衣

冬

初冬

冬之末

歲暮

爐火

霜

雪

冰

付氷

霰

佛名

春

立春

逐吹^テ潜^セ用^ニ石^ヲ約^シ芳^カ菲^ニ之^レ俟^ツ迎^フ

去^ク久^ク矣^ニ将^シ希^ニ而^シ病^ム之^レ壯

冰凍^シ凍^シ預^メ風^ヲ解^ケ心^ヲ梅^ノ而^シ書^シ封^シ

柳^ノ氣^ヲ凍^シ生^シ初^ニ池^ニ氷^ニ以^テ交^フ書^シ

今自不知誰計此春風
水一河來
春之後更言
野乃

早春

冰消田垌
東家
村梅開

氣霧
紫塵

笠秋来月夜に海風を懐く
きしき乃ち海風を懐く
はつとよきしき乃ち海風を懐く
ちかひなきとよきしき乃ち海風を懐く
ちかひなきとよきしき乃ち海風を懐く

春夜

宵短を懐く月夜に海風を懐く
けつろの春のやまはあやあやしき
えいとうとよきしき乃ち海風を懐く

子日 付着棠

倚松樹の摩腰を風を懐く
和筆を懐く
依松樹の摩腰を風を懐く
杉梅花の枝頭二月の春を懐く
絲のつらき糸を懐く

水澄送客在離離絶書の心も初
坡勢思秋又の秋風涵道志所
之謹帖中属之介

悠寂幸と在因桃葉淡以動意
水成已字初之日源起周年は後
徹石まま来心宿約事涵道は早も先途

桃

夜雨偷洒着波眼新嬌曉風

後吹不言く口先頃

みらりてあうりたうそふもりつあ
らふらうらふらうらあひもけられ

暮春

拂水柳花なる方然福梅さるる

但知沙鷗の落後乱線野馬の沙鷗
今昔の河内情年ふら春酒を
割伯の初今日好意を
けふのこころは
けふのこころは

三月の妻

道もふらぬまらゆ人年一
タリ

秋風く不気風起を
竹は春雨清氷日暮多
惆怅も海を待し
こころも不用勤
ふらぬ妻の
暮春の南園花は
タリ

三三の...
きう...
それ...
あ...
わ...
九

圓二月

今年...
...
...

林...
...

花...
...

...

寫

雞...
...

誰...
...

うらみねんまゝあうりちんゆゑふん
ふんしうしうしうふんまゝ

西風

霧が光燭は寂然と
瀬沙若草と云々許
きぬふらうやうい
けらわいふふふふ
うーのふんふん

あまひらとらふあま
とらふとらふとらふ

雨

或喜花下潜指雲子
同暗動清郎之思
名樂種花印也
養得自花父母

花新開自初陽 洞島老歸 時應暮院
斜照暖風先 扇處暗花 朝自未晴 初
雨くくりあきくはありさあねおね
わらともとふけよからき森
あきやまころえさくしめきふけりさめは
いしそとあけつたまうこそんふ

梅 付 詠 集

白片落梅浮 洞水 芳棹 新柳 出 城 墻

梅 花 落 雪 飛 舞 柳 花 輕 入 酒 中
漸 覺 臘 雪 新 對 畫 倚 院 春 風 吹 雪 先
青 絲 綠 巾 陶 白 玉 裝 成 度 度 畫
空 願 卷 雲 紅 朱 仙 憶 太 原 万 枝 梅 香
惟 言 春 色 也 堪 東 風 吹 暖 雨 後 花 始 開
いあしき梅しそく梅しわうやせ志
こりあしめはくふさくしきり

わづきこころんきじしゆりか
それともみこしゆさのあきけ
かとしえくまれねらうきし
あやあしこころんきじしゆりか

紅梅

梅含難百箇紅氣は契
淡紅鮮始仙方之雷
芬郁姣媚之夜懐董

有也易方後居
仙風生方致
意あそしこれ
りろとととと
るも細はれり
つひあぬら

柳

梅鳥ゆき
竹葉
柳花
紫雲

漸欲拂^ク化^{スハ}綺馬^{シトタノ}客^シ未^ク多^ク産^ク均^ク病^ム人^ニ
 垂^テ扇^ニ屯^ハ如^ク粉^ニ匪^テ春^ニ村^ニ柳^ハ翠^ク花^ニ眉^{ヨリモ}
 被^ニ翠^ニ老^ニ生^テ風^テ情^ヲ少^キ身^ニ心^ニ正^シ事^ヲ甘^ク一^ニ句^ヲ爲^ス
 太^ク唐^ク巖^ク梅^ク雪^ク房^ク雅^ク回^ク粉^ク粧^ク眉^ク卷^ク
 山之^ニ杏^ノ未^ク開^ケ豈^ニ越^ニ紅^ク粉^ク
 雲^ノ影^ヲ記^ラ花^ヲ扶^ラ柔^ク日^ニ春^ノ烟^ヲ香^ク粉^ヲ散^ク柳^ノ風^ヲ

愁^ク宅^ノ迎^テ晴^ク庭^ヲ月^ニ暗^ク蓬^ノ池^ノ音^ヲ水^ノ綠^ク涼^ク
 漂^ク心^ノ月^ノ波^ヲ未^ク行^ケ桂^ノ香^ヲ風^ノ衣^ノ海^ノ棠^ノ花^ノ秋^ノ
 りとやまき乃のししとあまうとるのりせ
 みさねくさふはほころひよけり
 けらねえとまこころやあさいふゆふのり
 りらこころりりしりしけふり
 りさやふのゆふりこりきりりし
 まのらふにそのりまらりりり

花

花明上苑行 駛九陌 塵埃
之山斜 月臺子 數之
池之深 蓮花光 猶少
遠見之家 花深不 論貴賤
蒙自望 風高 作子 願可 願
深枝 淺深 表裏 入再入

惟碧水 意深 影隨 芳
誰謂花 亦不 輕深 激芳 新
音 謂之 水亦 深女 純彩 鏡
欲 謂之 在之 霜人 深之 深
減自 何 結 唯 芳 亦 裁 書 氣 極 促 長 凡
花 苑 亦 深 亦 深 亦 深 亦 深 亦 深 亦 深

後_ニ望_ニ慈_ニ母_ニ... 生_ニ尊_ニ佛_ニ尊_ニ... 世_ニ尊_ニ佛_ニ尊_ニ... 是_ニ者_ニ為_ニ底_ニ補_ニ花_ニ...

夏

更衣

持_ニ世_ニ能_ニ獲_ニ獲_ニ經_ニ名_ニ... 生_ニ衣_ニ欲_ニ約_ニ家_ニ人_ニ着_ニ宿_ニ膝_ニ面_ニ招_ニ色_ニ老_ニ解_ニ...

首夏

瓊_ニ頭_ニ竹_ニ葉_ニ經_ニ有_ニ袂_ニ階_ニ底_ニ畫_ニ畫_ニ...

昔生石田種長種何出流心小善得
りやとののかま移やけつとぬらうん
まうさうさうさうさうさうさう

夏秋

風吹枯木晴天夏有風平沙夏秋
風生竹葉晴天夏有風平沙夏秋
夏秋意因雲度は深の秋の月物

夏乃秋と移ぬらああぬらあぬら
人まをわをわ移色いさりけを
ひりりあ色いあさうさうさう
夏の秋のあぬらうさうさうさう
あうひさあうあうあうあう

端午

有田南戸老見ままな園は物
わさいほさうさうあひらうあわ
あひをさうさうあまうあなうさ

晩夏

竹影陰冷偏^ニ夏^ニ水檻風涼^ニ約^ニ林^ニ
交^ニら^ニつ^ニる^ニあ^ニふ^ニま^ニと^ニあ^ニれ^ニれ^ニあ^ニく^ニ流^ニ過^ニせ^ニ
い^ニつ^ニま^ニり^ニさ^ニう^ニは^ニさ^ニん^ニと^ニの^ニま^ニを^ニ
絲^ニま^ニし^ニも^ニも^ニ持^ニつ^ニて^ニあ^ニふ^ニ糸^ニの^ニま^ニを^ニ
ま^ニふ^ニあ^ニく^ニと^ニ人^ニま^ニつ^ニあ^ニま^ニり^ニ

花橘

盧橘^子作^出處^重梅^桐系^我水^風涼

枝^葉繁^華春^色好^花香^遠寄^詩韻^風
さ^つつ^まま^のま^のあ^らは^るは^あら^うと^かけ^る
ひ^しの^りん^を社^乃者^をと^りて

蓮

圓^何七^を花^葉高^潔綠^水葉^秋花^露華^香
葉^展秋^露高^潔綠^水葉^秋花^露華^香
煙^開翠^影清^風水^涼花^香白^露華^香

岩波杖伝存る^テ着^ス深^シ海^ノ東^ノ北^ノ極^ノ也^ト
縁^テの^ニ更^ニ竟^ス美^シ山^ノ出^ルは^チ気^シ者^カ老^シ存^ル也^ト
縁^テ為^ル自^ラ信^スの^ニ眼^ヲ知^ル油^ノ花^ノ中^ニ極^ニ是^レ根^ヲ
さうらひ^ノの^ニふ^ラら^ハふ^クま^メめ^クら^ハる^ニも^シも^シ
あ^ハら^ハる^ニは^チつ^トも^トた^マま^シあ^ハら^ハる^ニも^シも^シ

郭^ノノ

丁^ノ今^ノ山^ノ鳥^ノ鳴^ク也^ト外^ノ方^ノ北^ノ水^ノ常^ニ流^ル也^ト

石^ノの^ニま^シや^シも^シ折^レる^ニう^マい^ニも^シあ^ハら^ハる^ニも^シも^シ
あ^ハら^ハる^ニも^シも^シあ^ハら^ハる^ニも^シも^シ
ゆ^キや^ラら^ハる^ニも^シも^シあ^ハら^ハる^ニも^シも^シ
い^まし^ムと^シも^シあ^ハら^ハる^ニも^シも^シ
あ^ハら^ハる^ニも^シも^シあ^ハら^ハる^ニも^シも^シ
り^ノら^ハる^ニも^シも^シあ^ハら^ハる^ニも^シも^シ

螢

螢^ノ火^ノ乱^レ飛^ル也^ト近^ニ辰^ノ星^ノ卑^ク也^ト復^シ無^ク也^ト
螢^ノ水^ノ暗^ク也^ト螢^ノ光^ノ和^シ也^ト楊^ノ柳^ノ風^ノ也^ト腐^レ也^ト

明^{トヒテ}仍在^ラ維^カ追^シ月^シ光^フ於^ラ屋^ニ上^ニ皓^ク
 不^レ消^ス豈^ニ積^ム雪^ハ於^ラ床^ニ頭^ニ
 山^ニ徑^ニ老^シ裏^ニ艱^ニ道^ニ油^ヲ海^ニ賦^シ爲^シ津^ニ船^ニ留^ル
 草^ニ婦^ニく^ニあ^ニま^ニさ^ニる^ニや^ニく^ニお^ニか^ニす^ニの^ニの^ニ
 風^ニく^ニま^ニさ^ニあ^ニハ^ニや^ニく^ニお^ニか^ニす^ニり^ニく^ニき^ニ
 け^ニん^ニと^ニあ^ニか^ニる^ニれ^ニぬ^ニもの^ニは^ニさ^ニつ^ニむ^ニ乃^ニ
 身^ニより^ニあ^ニま^ニさ^ニる^ニれ^ニり^ニの^ニ氣^ニさ^ニり

蟬

年^{タル}く^ニも^ニ春^ニ日^ニ玉^ニ秋^ニ瓦^ニ暖^ニく^ニ温^ニ水^ニ澄^ニ
 嬬^{タル}く^ニも^ニ秋^ニ風^ニ山^ニ蟬^ニ鳴^ニく^ニも^ニ木^ニの^ニ
 手^ニ老^ニ鳥^ニ落^ニ合^ニ梅^ニ白^ニ月^ニ蟬^ニ於^ニく^ニも^ニ木^ニ
 名^ニ不^ニ細^ニ美^ニの^ニ氣^ニ森^ニ蟬^ニの^ニ夢^ニ繁^ニ蟬^ニの^ニ聲^ニ
 今^ニ年^ニ實^ニ例^ニ勝^ニ先^ニ彭^ニお^ニは^ニ蟬^ニ出^ニく^ニも^ニ玉^ニ
 歲^ニ之^ニ氣^ニ身^ニ健^ニ志^ニ衰^ニ老^ニ心^ニ林^ニ好^ニ遊^ニの^ニ聲^ニ

まやまのみのりことと情ふたうけま
さうらうそせいのこゝろいさへゆ
らわらふよらうとせとらめらるる
縁とあひりつまれふすこさ

扇

盛夏つ不消書終年暮書風
緑生ひ重花月入懐中
不期和漏初分は唯教林園

あまの川かきかきすこたふこい
あまの川のそとをわかこさ
あまの川あまの川のそとをわかこさ
あまの川あまの川のそとをわかこさ
あまの川あまの川のそとをわかこさ
あまの川あまの川のそとをわかこさ

秋

立休

蕭風涼風も暮秋唯あけ
つたふて

鶉漸散ク スル同秋ノ少レ輕カきニ越ル冬ノ曉ノ也ナ
秋ノまアあハめシめリハハハヤウノぬシて絲もも
うラわルのとももいハウノおシらウももあハラウ
うラらウけレらウのそのあらハマシのこり家
あハらウのこり家ともあハらウのこり家

早秋

但タ暑フ者キ随レ三ニ伏ニ不レ知レ絲ノ送ルこも来ル
探タ花ノ面ノ潤ニ新ニ秋ニ地ノ相ノ葉ノ風ノ涼ニきレ花ノ

美ミ京ノ新ニ残ニ衣ノ為ニ重ニ時ノ涼ノ涼ノ涼ノ涼ノ涼ノ涼ノ
秋ノこもいハウノこもあハらウのこり家
あハらウのこり家ともあハらウのこり家

七夕

信ヒ得タリ少ク多ク長ク巧ク竹ノ竿ノ頭ニ取リ懸ケ多ク
二ニ星ノ通スる末叙ノ別ノ結ノ比ノ之ノ恨ヲ
之ノ本ノ将ニ明ニ歩ニ頻ニ驚ニ鳥ノ涼ノ風ノ之ノ色ニ

病有別源珠之... 氣機松塔... 成
 之夜更浪雲... 濕幻燭... 侵流... 公...
 詞... 傲... 雖... 且... 志... 心... 期... 片... 缺... 為... 煤
 風... 昨... 未... 老... 夕... 涼... 然... 為... 及... 的... 朝... 海... 慈... 禁
 あ... る... ら... は... と... と... さ... わ... さ... つ... り... ん... あ... ら... 福... と... も
 ひ... ら... 勢... ら... ら... と... 書... と... 行... ら... ら... と... む... む... の
 あ... る... ら... ん... あ... ら... と... 此... か... ら... ら... ら... ら... ら...

秋興

林間... 烟... 酒... 燒... 紅... 葉... 石... 上... 題... 約... 拂... 綠... 苔...
 禁... 思... 妙... 花... 雲... 水... 冷... 高... 聲... 清... 脫... 後... 雜... 秋...
 在... 庭... 四... 阿... 心... 想... 若... 死... 中... 腸... 以... 是... 秋... 天...
 物... 色... 自... 甚... 佳... 何... ら... ら... ら... 宜... 將... 愁... 字... 他... 林... 心...

由來感思在秋夫多級當何言以爲家
第一傷意何處水竹同鳴在何月
蜀茶東樹忘ほ花味老練新得掃意
うらうらといふ所の野色此あさけはさ
にふんとも色見のふらふら
あさハたるとゆふとくれとてうあ
れまきううりてとらさのしあ

秋晚

相思夕上杯甚る老面思跡今由身秋
望出悲月程茲秋徒初死水精係存
とくやまのこのくれとらぬす
かのうらとゆふあさのうられ

秋夜

秋夜
燭背燈出秋菊暗面打窓
妹春去ここ無睡天女の的秋と錢
燭背燈出秋菊暗面打窓

まほしき御禮物もあはれに星のまほしき御禮物

さき子橋沖新見新林新木只為一人長

新見新林新木只為一人長

あはれにまほしき御禮物もあはれに星のまほしき御禮物

八月廿六日 付月

奈旬之二十子餘里深く水福深

家之二十のちと洗と粉餅

徹錦枝中と辨想由と字橋

衣砧上俄添色列とちやう

三子橋沖新見新林新木只為一人長

あはれにまほしき御禮物もあはれに星のまほしき御禮物

引^テ分^クき^テ流^ル其^カ流^ル能^ク枯^ル其^カ枯^ル能^ク白^ク流^ル
谷^ニ水^テ洗^フ花^テ波^ラ下^テ流^ル而^テ待^ツ上^ル者^ニ也^{ナリ}
餘^ニ家^ノ地^ノ脈^ニ和^ス味^ヲ冷^ク日^ニ精^ヲ而^テ經^ル其^カ氣^ヲ
之^ニ力^ヲ百^ノ箇^ノ葉^ニ

わらわしのこころをわらわしからわらわしに
わらわしをわらわしからわらわしに

菊

我^レ家^ノを^シ修^ム其^カ葉^ニを^シ白^ク流^ル菊^ノ新^ク花^ヲ在^ル也^{ナリ}
不^レ是^レ花^ノ中^ニ侮^ム也^{ナリ}也^{ナリ}也^{ナリ}也^{ナリ}也^{ナリ}也^{ナリ}
嵐^ニ陰^ニ欲^ク嘗^テ言^フ碑^ヲ石^ノ相^ノ之^ニ後^ニ凋^ル秋^ノ景^ニ
早^ク梅^ノ朔^ク芝^ノ菜^ノ之^ニ先^ニ敗^ル
鄰^ノ縣^ノ村^ノ田^ノ皆^ク陶^ノ家^ノ既^ニ子^ノ也^{ナリ}
蘭^ノ花^ノ自^ラ然^ル為^ス俗^ノ骨^ノ標^ノ難^ク存^ル也^{ナリ}

上

上

業萬葉花崗推しはるは蓬葉個月也露
あいろあいろいれくもやあやめくろくろめ
をたまましくりきほあきくろくろの花
いさくこのくものうしろてかみふたつは
あいろあいろいれくもやあやめくろくろ

九月書

凝以清色乃固難留雨愁を衝
凝今色者乃追何是蓬頼風院

頑目凝は禪客の秋抱と去在難
文者業魂色白駒京詞海鏡舟紅葉声
山はひいしあきもなれあはははくふくも
あきまはあきまにまけらあきま
あきまあきまあきまあきまあきま
あきまあきまあきまあきまあきま

女郎花

花色心蓮葉信呼為女郎同名哉

欲^ハ辨^ラ借^ラ老^シ恣^ク思^ハ養^フ為^ル首^ニ似^ク霜^ニ

あきこころいへばはるるおとくやとらきん
あやまきあきこころあまきこころいへば

をまきたくへばはるるあまきこころいへば
いへばはるるあまきこころいへば

秋

院^ノ為^シ靡^ル花^ニ不^レ惜^ク昔^ノ百^ノ叙^ヲ樂^シ也^ニ

あきこころいへばはるるあまきこころいへば
あまきこころいへばはるるあまきこころいへば
あまきこころいへばはるるあまきこころいへば
あまきこころいへばはるるあまきこころいへば
あまきこころいへばはるるあまきこころいへば
あまきこころいへばはるるあまきこころいへば
あまきこころいへばはるるあまきこころいへば
あまきこころいへばはるるあまきこころいへば
あまきこころいへばはるるあまきこころいへば
あまきこころいへばはるるあまきこころいへば

蘭

前^ノ頭^ニ有^ル蘭^ノ條^ノ物^ノ老^シ南^ノ表^ニ業^ル多^ク養^フ

枝^ノ葉^ノ量^ニ五^ノ叙^ヲ平^ニ浮^ル毛^ノ掩^ル也^ニ也^ニ

葉^ノ量^ニ五^ノ叙^ヲ平^ニ浮^ル毛^ノ掩^ル也^ニ也^ニ

凝^ル漢^ノ女^ノ顔^ノ粉^ノ滿^ル似^ク殺^ス人^ノ眼^ノ泣^ク珠^ニ

上
中
松樹の年終は松花の一日自の象
あつちうぬはあかりつあまの如た
うあまけしうらひぬそと

権

松樹の年終は松花の一日自の象
来ふる遊流有拂暑く病も
か不返権離云扱暮く花

杉はつふたきしりあめあはつとほ
きしまりしゆあさうかのうか
あさうりさうしけうかしとせひを
人ともけかこさうみるん

あ裁

多自裁花悦自倚也何縁也約字遊
自昔因縁の傍偶春樹も裁林も縁
因思着は花記日思生當也終百年

曾非種慶思元亮為是花何似世尊
らりてさうすうしとせむをさうすうしとせむ
しりてさうすうしとせむをさうすうしとせむ
しりてさうすうしとせむをさうすうしとせむ
しりてさうすうしとせむをさうすうしとせむ
しりてさうすうしとせむをさうすうしとせむ
しりてさうすうしとせむをさうすうしとせむ
しりてさうすうしとせむをさうすうしとせむ
しりてさうすうしとせむをさうすうしとせむ
しりてさうすうしとせむをさうすうしとせむ

紅葉 付紅葉

石塔紅葉青苔地又見深園
黄縷縷林寒有葉如楓林深
石塔紅葉青苔地又見深園
黄縷縷林寒有葉如楓林深

園中清淺猶瑞水庭上蕭疎錦繡林
外物獨醒松間之餘波合身深江色
あきほのこゝろ ちかほのこゝろ
しりてさうすうしとせむをさうすうしとせむ
しりてさうすうしとせむをさうすうしとせむ
しりてさうすうしとせむをさうすうしとせむ
しりてさうすうしとせむをさうすうしとせむ
しりてさうすうしとせむをさうすうしとせむ
しりてさうすうしとせむをさうすうしとせむ
しりてさうすうしとせむをさうすうしとせむ
しりてさうすうしとせむをさうすうしとせむ
しりてさうすうしとせむをさうすうしとせむ
しりてさうすうしとせむをさうすうしとせむ

紅葉

三秋の言海正長之傳由海力

雁 付返局

万里之南^ニ去^ル春^ニ雁^ハ北^ニ飛^ブ之^レ知^ル何^ノ歳^ニ

月^ニ待^チ与^シ汝^ト同^ク歸^ル

尋^ニ陽^ノ道^ハ也^ハ湖^ニ流^ハ滿^ク軟^ニ難^ク林^ノ石^ハ局^ト来^ル

冥^ニ采^ル山^ノ糖^ハ何^ノ交^ハ也^ハ之^レ仍^レ局^ト然^ル雨^ニ雲^ニ秋^ニ

君^ハ之^レ難^ク過^ス也^ハ抛^キ難^ク於^テ上^ニ弦^ハ月^ハ熱^ク

奪^ル其^ノ易^ニ果^シ遂^ニ從^テ來^ル誤^ル也^ハ下^ニ流^ハ水^ハ急^ク

雁^ハ飛^ビ北^ニ去^ル也^ハ書^ク有^リ紙^ニ雀^ハ將^テ君^ノ難^ク林^ノ石^ハ来^ル

碧^ニ玉^ハ柱^ハ夜^ニ當^テ斜^ニ立^チ柱^ハ青^ニ也^ハ紙^ハ數^ハ竹^ノ書^ク

雲^ハ夜^ニ流^ハ殊^ニ難^ク中^ノ贈^ハ風^ハ得^テ滿^ク相^ノ浪^ハ舟^ノ

あさうかろくしんかひこいよまふ
ころたまりこをうけくまろしん

歸局

蒼蒼路清住海寺經葉聲乾塵立林
晴遠食草身色空更何如方燒氣
そみからせぬとれん乃やまにすけうの
まのまゝまゝくやあまきとあるまを
ゆつてよとらるる乃海にありしう
ふんぬのららるやあまきはらるん

露

下樓乃身初之初露似珠月似露

露滴葉花露垂玉露風動松葉雜花
はらりりりあまきとらるるあまきとらるる
くまきとらるるあまきとらるる

露

竹露映葉露滴庭月露風暖之露
雜花乃露花埋枕花之朝露雲之露
はらりりあまきとらるるあまきとらるる
はらりりあまきとらるるあまきとらるる

黄鹄綠瑠璃^ハ 遠空^テ 飛^ス 絳^ク 紅^ク 鶴^ハ 雲^ハ 鳳^ハ 紋^ハ 火^ハ 迹^ニ
 看^ニ 野^ニ 馬^ハ 陸^ニ 雲^ニ 寫^シ 鳳^ハ 腕^ハ 鳳^ハ 紋^ハ 火^ハ 迹^ニ
 空^ハ 在^ル 後^ニ 花^ハ 樹^ハ 影^ハ 射^ス 來^ル 終^ニ 日^ハ 有^ル 意^ハ 情^ハ
 化^シ 時^ハ 凝^ル 碎^ク 字^ハ 在^ル 下^ニ 近^ク 日^ハ 那^ハ 能^ク 歎^ス 然^ル 灰^ハ 色^ハ
 う^レ 流^ル 云^ハ 心^ハ 妙^ニ 一^ニ 下^ニ よ^ク 結^ス 一^ニ 下^ニ 結^ス 一^ニ 下^ニ 結^ス
 心^ハ 小^ニ 色^ハ 妙^ニ 一^ニ 下^ニ よ^ク 結^ス 一^ニ 下^ニ 結^ス 一^ニ 下^ニ 結^ス

霜

三^ニ 海^ハ 岸^ハ 雲^ハ 花^ハ 初^ニ 白^ク 一^ニ 夜^ハ 林^ハ 影^ハ 葉^ハ 盡^ク 紅^ク
 萬^ノ 物^ハ 秋^ハ 老^ク 花^ハ 能^ク 接^ス 天^ハ 空^ハ 何^ハ 老^ク 日^ハ 為^ル 凋^ル 色^ハ
 園^ハ 老^ク 夢^ハ 驚^ク 驚^ク 或^ハ 添^ク 孤^ク 婦^ハ 之^ハ 倦^ル 上^ニ 山^ニ
 深^ニ 感^ス 動^ス 先^ニ 後^ニ 日^ハ 皓^ク 之^ハ 曠^ク 邊^ニ
 看^ニ 子^ハ 和^ク 深^ニ 聲^ハ 石^ハ 經^ル 老^ク 為^ル 年^ハ 晚^ク 燈^ハ 影^ハ 寂^ク 香^ハ
 存^ニ 心^ハ 妙^ニ 妙^ニ 之^ハ 鶴^ハ 亦^ハ 之^ハ 初^ニ 經^ル 之^ハ 昔^ハ 曾^ハ 履^ル 人^ハ

晨積有清涼
夕色秋寒
夕色秋寒
夕色秋寒
夕色秋寒
夕色秋寒

雪

曉入梁
樓月明千里
銀河沙漲
子果梅
願花
在
一
株

君似鶴
毛
亂
今
夜
鶴
夢
去
他
鄉
或
逐
風
去
返
如
梅
香
鶴
毛
在
面
晴
於
殘
艸
綴
亂
梅
香
願
九
越
似
得
春
柳
浦
鶴
毛
在
面
採
舟
人
直
於
庭
上
頭
為
鶴
毛
在
面
子
在
地
翅
女
園
中
秋
雁
久
我
毛
在
面
上
表
與
毛
色

霰

摩訶末跋致を脱於頌珠打鞠を
こやまうりあわれありや
まきねのりらつらつさなり

佛名

香火一福焼下登白頭末礼仙名經
香自得心至用火花用合掌石自表

あつたまのこゝろをくられははくらのあそ
はこをのこゝろをさりやあそ
あつたまのこゝろをさりやあそ
あつたまのこゝろをさりやあそ
あつたまのこゝろをさりやあそ
あつたまのこゝろをさりやあそ

友

空尊佛尊年元色想乞在之空書

初冬

誰か婦秋梅留月若月流花并也

和漢初祿集上卷

四六



山形縣月形町在田山郡

廣野新田村

梅本金花五



